

# 第7回 日本医療安全学会学術総会

医療安全 -- 温故知新 -- 次代型医療安全の構築 --  
--- 多職種における医療安全推進 ---

ライブ配信と記録媒体配信のハイブリッド会議

**会期** 2021年5月29日(土)~6月7日(月)

**会場** WEB配信 (パネル討論会の討論のみライブ配信予定)

**共同総会長** 四柳 宏 (東京大学医科学研究所附属病院医療安全・感染制御センター・センター長、同感染免疫内科教授、病院長)

清野 敏一 (帝京平成大学薬学部教授、前東大病院前副薬剤部長)

布施 淳子 (山形大学大学院医学系研究科看護学専攻基礎看護学講座教授)

(対象者) 病院経営者、病院長、医療行政担当者、総括医療安全管理者、医科医療安全管理者、歯科医療安全管理者、医薬品安全管理者、医療機器安全管理者、病理医、臨床医、薬剤師、保健師、看護師、訪問看護師などの在宅医療関係者、ケアマネージャー、介護福祉士、臨床工学技士、診療放射線技師、臨床検査技師、院内法務担当者、弁護士、研修医、学生、医療産業従事者、その他の医療職の方

※ 高度医療安全推進者、高度看護安全推進者、高度医薬品安全推進者は学術総会参加義務があります。  
参加されない場合は資格失効となります。ご注意ください。

## 連絡先

日本医療安全学会第7回学術総会事務局  
〒113-0033 東京都文京区本郷 4-7-12-102  
国際医療リスクマネージメント気付  
(TEL) 03-6801-6922 または 03-3817-6770  
(FAX) 03-6801-6987  
(Email) 7amt@jpscs.org



## (記録媒体配信期間)

繰り返していくどこでも視聴可能です。 (=オンデイマンド配信)

5月29日（土）～6月7日（月）

## (ライブ配信開始時間)

各パネル討論会の総合討論部分のみを、定刻にライブ配信します。

5月29日（土）午前10時

5月30日（日）午前9時

### (視聴方法)

- ・記録媒体配信用のサイトとライブ配信の詳細を5月中旬に参加費支払い済の方へお届けします。
- ・記録媒体配信はインターネットに接続可能な機器すべてで視聴頂けます。
- ・ライブ配信ではZOOMを使用します。お使いのPCや携帯等の機器に事前にアプリをインストールしておくとスムーズです。
- ・参加者には、記録媒体配信を視聴するための特設ホームページ、およびZOOM参加マニュアルを電子メールにて通知いたします。
- ・パネル討論会のパネリストにはライブ講演マニュアルを通知します。

### (必要な資材)

- ・インターネットに接続して、スピーカーから音声ができるPC。
- ・ZOOMというネット会議ソフト（無料）
- ・PDFファイルの閲覧ソフト（例:Acrobat Reader、無料版あり）
- ・マイクロソフトのパワーポイント
- ・mp4動画用の閲覧ソフト（例:Windows Media Player 12、無料）。

※スマートフォンやiPhoneではZOOMだけダウンロードすれば、ご参加いただけます。

### (参加申込方法)

オンライン参加申込は、以下の URL から行ってください。

<https://forms.gle/7aWTffFn5TgXBB6z5>

FAX ないし郵送の参加申込は、以下のファイルを記入してお届けください。

<https://ipscs.org/7thJPSCS/JapRegistrationForm.rtf>

(インターネット学術総会のホームページアドレスの通知)  
参加費支払い済みの方へ電子メールにて事前にお知らせします。

(電子版抄録集のホームページアドレスの通知)  
参加費支払い済みの方へ電子メールにて事前にお知らせします。  
インターネット学術総会では、この抄録集の原稿を参照してください。

### (参加証と領収書)

開催終了後に電子版領収書と電子版参加証をお送りします。

### (印字版抄録集の配布)

購入希望者には郵送にてお送りします。

## 参加費振り込み方法

1. 参加申し込みの締め切り： ~~2021年5月20日~~ → **2021年5月25日**

2. 参加登録者の参加費振込：

支払い締め切り **2021年5月25日** までに振り込み控えをFAXください。

(振込先口座)

銀行支店名：みずほ銀行 本郷支店 支店番号： 075  
口座番号： 普通 4092033 口座名義： JPSCS 総会

3. 参加費 クレジットカードはご利用いただけません。

日本医療安全学会の会員	学部学生	その他
参加費（非課税）	13,000	8,000
印刷抄録集	3,000	3,000

- お支払いされた方には、参加証および領収書をお送りいたします。
- 大学院生や研究生は一般扱いです。学生の方は学生証を提示してください。
- 研修医の方は、上司からの証明があれば学生と同額です。

※ 当日参加申し込みは一切受け付けません。

# 第7回日本医療安全学会学術総会

会期: 2021年5月29日(土)～6月7日(月)

場所: WEB配信

## 【総会長】

四柳 宏 (東京大学医科学研究所附属病院医療安全管理部部長、同感染免疫内科教授、病院長)  
清野 敏一 (帝京平成大学薬学部教授、前東大病院前副薬剤部長)  
布施 淳子 (山形大学大学院医学系研究科看護学専攻基礎看護学講座教授)

## 【副総会長】

水本 一弘 (和歌山県立医科大学医療安全教授)  
富田 隆 (帝京平成大学薬学部教授)  
石井 宣大 (東京慈恵会医科大学葛飾医療センター臨床工学部)

## 【実行委員長】

飛田 ゆみ (お茶の水女子大学)

プログラム委員会: 理事会に同じ

組織委員会: 正副会長、全理事、全代議員、その他

実行委員会: 正副会長、全理事、全代議員、その他

## 主催

一般社団法人 日本医療安全学会

## 後援

【官公庁】厚生労働省 文部科学省

【学会】国際医療リスクマネジメント学会 日本病理学会 日本薬剤師会 日本救急医学会 日本臨床腫瘍学会 日本神経治療学会 日本臨床工学技士会

日本歯科衛生士会 日本緩和医療学会 日本公衆衛生学会 日本診療放射線学会

【専門職団体】日本医師会 日本歯科医師会 日本病院薬剤師会 日本薬剤師会 日本看護協会 日本診療放射線学会 日本臨床工学技士会、他

## ごあいさつ

共同総会長挨拶

四柳 宏

東京大学医科学研究所附属病院病院長  
医療安全・感染対策センター長



第7回日本医療安全学会学術総会の共同総会長を務めさせて頂くことになりました。テーマは共同総会長3名で相談し、“医療安全の温故知新”とさせて頂きました。

この挨拶文を起草してから3ヶ月後に新型コロナウイルス感染症が日本を含めた世界を襲いました。多くの医療機関が感染対策はもちろんのこと、医療機関にかかっている患者さん・職員の安全を確保することに心血を注いだ数ヶ月であったかと思います。医療安全の裾野が広がったように私自身は感じております。

医療事故を防ぐ原点は “どのようなリスクがあり、それがどのような場合に起きるかを知り適切な対応をとること”、すなわちリスクマネジメントにあると思います。いかにしてこのことを医療に携わる一人一人の心に刻むかに会員の皆様は日々努力されているはずであり、その原点は変わりません。

各医療機関が医療安全を検討する会議の場ではインシデント・アクシデントの具体的な事例が挙げられ、何がその背景にあるか検討されます。立案された対策が職員に周知され、その効果が上がっているかを確認して次の問題に取り組む。こうしたPDCAサイクルが基本にあると思います。こうしたクライシスマネジメントの重要さはさらに重要になってきていると思います。

その一方で医療をめぐる環境は大きく変化してきております。一つの現れが新たなツールの急速な導入です。医薬品、医療機器、臨床検査、医療機器以外の様々な機器、いずれも新たなものが現場に入ってきており、過去の経験に学ぶだけでは安全な医療を行うことが困難になりつつあります。こうした新たなツールを導入する際には関係者皆が十分に学習することが大切ですし、情報を共有する場も大切です。

地域における医療安全も変動期にあります。急速に導入が進められている地域包括ケアは医療職だけではなく、一般生活者を医療に向き合わせる側面を持ち合わせています。一般生活者にも医療安全のミニマム・エッセンシャルズを学んでもらうことが必要になっています。

働き方改革が急速に進んでいます。医療従事者の疲弊を防ぐためにも働き方改革は進めなければいけないものですが、医療安全には落ち着いて考え方行動する余裕が大切です。働き方改革のうねりの中、医療安全への十分な配慮が望まれると思います。

第7回の学術集会ではこうした医療の変動期にあたって現場の皆様が感じておられる問題を出し合い、医療安全の原点に立ちながら新しい問題にどのように対応していくかについて存分に話し合って頂きたいと考えています。多くの皆様においで頂くことを願っています。

共同総会長挨拶

清野 敏一

帝京平成大学薬学部教授



このたび、2021年に開催される第7回日本医療安全学会学術総会の共同総会長を担当させていただくことになりました。医薬品の安全を担当する立場として、ひとことご挨拶を申し上げます。

私は、東京大学医学部附属病院にて病院薬剤師として長年にわたり勤務し、医薬品を中心とした医療安全に関わって参りました。そこで常々感じていたことは医薬品を適正かつ安全に使用するためには、薬剤師だけではなく、処方を作成する医師や直接患者に医薬品を使用する看護師など、多職種が連携して安全対策に取組むことの重要性でした。本学会は、多職種から構成されていることが大きな特徴であり、私は第1回の学術総会から可能な限り多職種が関わる形式のパネル等を提案してまいりました。

今後の2025年問題を目前に控え、地域包括ケアシステムの中での在宅医療の重要性が増すことは確実な状況です。そのなかで医薬品安全をいかに達成するかということを考えた時に、概ねシステム化されてきている病院での医療安全対策だけではなく、今後は在宅診療に携わる医師や看護師、そして保険薬局薬剤師とも連携して行くことが極めて重要と考えられます。本学術総会も第7回を迎える、もう一度原点に返って、特に安全上で大きな問題となるハイリスク薬等を中心に、“リスクマネージメントはどうあるべきか”について意見交換する時期に来ていると考えます。

ぜひ多くの皆様に御参加いただき、在宅医療を含めた超高齢化社会における医薬品安全について活発な意見交換ができるればと思います。どうかよろしくお願い致します。

共同総会長挨拶

布施 淳子

山形大学大学院医学系研究科  
看護学専攻 基礎看護学 教授



このたび、第7回日本医療安全学会学術総会を四柳宏先生、清野敏一先生とともに担当させていただくことになりました。学術総会のテーマとして「医療安全の温故知新」を掲げております。

医療安全に対する施策が本格稼働してから20年が経過致しました。その間、医療安全施策として、医療安全管理のための整備、医療安全専任管理者・部門・患者相談窓口の配置、医療事故情報等の報告、医療安全支援センター設置、医療事故調査制度等が実施されてきました。これらの施策をもとに病院施設等では医療安全対策が遂行されています。この20年で医療は大きく進歩し、システム、医療機器薬品等が発展を遂げ、日々新しい情報が更新されています。

そして、2020年に入りCOVID-19の感染拡大により、これまでの医療提供体制が一変しました。このような不測事態の中、医療従事者は自施設の感染対策等を整備し、日々の診療に立ち向かっています。

医療従事者は日々更新される情報の中で、多職種と連携し医療行為を安全に実行していかなければなりません。これらの医療行為は同時に重複し連続して進行していきます。医療従事者は、この複雑な医療行為の安全を担保して実施することを考えなければなりません。この現状を踏まえ、これまで実施してきた医療政策、医療システム、ガバナンス、リスクマネジメント、医療機器、医薬品、臨床検査、医療情報、看護管理、事故分析、医療安全教育、患者参加等の課題について原点回帰し、そこから現状に合った対策を情報共有することが重要と考えます。

本学術総会では医療安全について現場で抱えている安全・安心の問題について多職種ともに解決策を共有・共感し、日々高度に発達していく複雑な医療現場での安全・安心文化について多くの方々と一緒に考えていくことができればと思っております。皆様のご参加を心よりお待ち申し上げております。

## 共同副会長挨拶

水本 一弘

和歌山県立医科大学附属病院  
医療安全推進部 病院教授

このたび、第7回日本医療安全学会学術総会（共同総会長3名）の副総会長を担当させていただきます。

今回は、「医療安全の温故知新」をテーマとしております。私自身、麻酔科医として30年以上、主に手術室、集中治療室で勤務してまいりました。この間に、患者生体情報モニタリングは目覚ましい発展を遂げ、リアルタイムの多角的な生体情報に基づき、より高度で安全性の高い患者診療、管理が可能となりました。また、医師と看護師のみであった現場スタッフ体制は、薬剤師、診療放射線技師、臨床工学技士をはじめとする多職種協働によるチーム医療が広がっております。医療安全の観点からは確実に良い方向に進んでおりますが、モニタリング盲信や多職種間の情報共有エラーに起因した有害事象など新たな問題も発生しております。過去を振り返ることは、現在を客観的に再評価することに繋がります。多くの皆様にご参加いただき、経験年数や職種の垣根を越えた活発な意見交換、討議をお願いしたいと存じます。よろしくお願い申し上げます。

## 共同副会長挨拶

石井 宣大

東京慈恵会医科大学 葛飾医療センター 臨床工学部

このたび、第7回日本医療安全学会学術総会の副総会長を担当させていただくことになりました。医療機器の安全を担当する立場として、ひとごとご挨拶申し上げます。

医療機器の安全につきましては、平成19年の改正医療法により医療機器安全管理責任者が施行されて13年経過しております。

医療機器安全管理責任者の業務は、大きく3つあり、医療機器の研修の実施、医療機器の保守管理計画策定と実施、医療機器の安全使用の情報収集とあります。医療の進歩とともに医療機器は様々な場面で使用されております。医療機器を安全に使用するための取り組みには、多職種の協力・連携が欠かせません。第7回日本医療安全学会学術総会のテーマは「温故知新」です。医療機器安全管理体制が設けられた背景や各施設における医療機器安全の対策、効果を通じて課題を抽出し、情報共有したいと考えております。

本学術総会では医療安全について、多職種の協力を集約し課題、対策を参加者の皆様と一緒に検討し、現場に還元いただくことで医療の安全・安心に貢献できるものと考えております。

ぜひご参加くださいますようお願い申し上げます。

## 学会の趣旨

本学会は、医療現場が日常抱えている安全問題を解決することを目的とし、特定の固定観念にとらわれず、幅広く様々に複雑な状況へ柔軟に対応し、実践的・現場に即した安全文化の構築を目指します。

この目的を達成するために、それぞれの安全管理責任者が本学会の理事・代議員として医療における各種安全分野を編成し、多職種横断的ならびに学際的研究の2つの視点から活動を展開しています。

以上から、本学会のキーワードは現場的、実践的、柔軟性、多職種横断および学際研究です。このような独特な特徴を持つ本学会は、皆様が現場で抱えている安全問題の共通部分について多職種によって問題意識と解決策を共有・共感し、同時に各専門分野での安全向上に努め、日々に高度に発達していく巨大かつ複雑な医療現場での安全文化を構築します。

### (対象者)

医療従事者、統括医療安全管理者、専従医療安全管理者、専任医療安全管理者、医療リスクマネージャー、医療クライスマネージャー、歯科医療安全管理者、医療機器安全管理者、医薬品安全管理者、その他の医療福祉関係者全般、安全科学・工学関係者、リスク科学関係者、危機科学関係者、法行政関係者、情報関係者、その他医療職の方、医療系の学生

## 次年度 第8回日本医療安全学会学術総会のお知らせ

会期: 2022年5月の土日2日間

場所: 浜松(予定)

共同総会長:

大磯 義一郎※ (日本医療安全学会理事長、浜松医科大学医療法学教室・教授)

井手口 直子 (帝京平成大学薬学部)

辰元 宗人 (獨協医科大学病院 医療安全推進センター)

※ 代表総会長

## 理事会・代議員大会のお知らせ

### 1. 定例理事会

- 2021年5月29日(土) 17:00～18:30
- 一般社団法人日本医療安全学会事務局 浜松医科大学総合人間科学・基礎研究棟306号室内  
※事務局を拠点にWeb会議ツール「zoom」を利用して開催します。

### 2. 定例代議員大会(理事の方もご参加ください)

- 2021年5月29日(土) 18:30～19:00
- 一般社団法人日本医療安全学会事務局 浜松医科大学総合人間科学・基礎研究棟306号室内  
※事務局を拠点にWeb会議ツール「zoom」を利用して開催します。

日程表 2021年5月29日(土)

日程表 2021年5月30日(日)

会場	パネル討論会1	パネル討論会2	パネル討論会1	パネル討論会2
部屋名	5月29日ライブ配信後、 収録資料の放映	5月29日ライブ配信後、 収録資料の放映	5月30日ライブ配信後、 収録資料の放映	5月30日ライブ配信後、 収録資料の放映
9:00				
10:00			(PN05) パネル討論会 医療の安全の確保 -多様な地域連携の在り方- 【小林 美雪】	(PN13) パネル討論会 「医療事故の再発防止に向けた提言」を考える 【大磯 義一郎】
11:00	(PN01) パネル討論会 頸部手術の術後血腫に伴う気道閉塞リスク～窒息による死亡を回避するために看護師、医師に伝えたいこと～ 【福島 光浩】	(PN09) パネル討論会 情報通信技術と人工知能を利用した医療安全向上の試み 【水本 一弘】	(PN06) パネル討論会 侵襲的治療の現場で求められるチームワークと多職種連携～手術室、救急医療、血管治療の現場から 【伊藤 英樹】	(PN14) パネル討論会 医療事故調査制度「センター調査」結果に対する患者側の評価 【勝村 久司】
12:00				
13:00				
14:00	(PN02) パネル討論会 医療従事者ピアサポートのあり方～ウィズコロナの時代を迎えて 【本間 覚】	(PN11) パネル討論会 医療機器安全管理のマネジメント 【石井 宣大】	(PN07) パネル討論会 チームで取り組む安全な内服管理 【三上 久美子】	(PN15) パネル討論会 医療事故調査制度5年を経た現状と課題 【勝村 久司】
15:00	(PN03) パネル討論会 よりよい自己決定を支援するインフォームド・コンセントのあり方 【松村 由美】	(PN12) パネル討論会 中小病院における医療機器安全管理の課題 【石井 宣大】	(PN08) パネル討論会 薬剤師が取り組む医療安全 【井手口 直子】	(PN16) パネル討論会 高難度新規医療技術を安全に実施する 【本間 覚】
16:00	(PN04) パネル討論会 コロナ禍の心理的安全性による医療安全の基盤強化に向けて 【藤井 千枝子】			
17:00				
18:00				

【 】内は座長氏名

日程表 2021年5月29日(土)～6月7日(月)

総会長講演・次期総会長講演	特別講演・招待講演	官庁講演	シンポジウム・市民公開講座
収録資料の放映	収録資料の放映	収録資料の放映	収録資料の放映
(ST01) 総会長講演 コロナ禍の感染対策・組織マネージメント 【四柳 宏】	(SP01) 特別講演・招待講演 医学・医療の進歩と医療安全を考える 【門田守人】		
(ST02) 総会長講演 医薬品による医療事故の防止対策について 【清野敏一】	(SP02) 特別講演・招待講演 ビッグデータを用いた安全管理 【野中 誠】		
(ST03) 総会長講演 熟練看護師の医療安全行動からSafety IIを探る 【布施淳子】	(SP03) 特別講演・招待講演 日本看護協会の医療安全の取り組み 【梅内美保子】	(SL01) 官庁講演 PMDAにおける医療機器の医療安全対策 【閔 譲和】	(SL03) シンポジウム 医療安全における医療倫理の実際 【布施淳子】
(ST04) 次期代表総会長講演 「Keep health workers safe to keep patients safe」 我が国の医療安全のこれから 【大磯義一郎】	(SP04) 特別講演・招待講演 海外におけるリスク管理から考える医療安全 【古閑比斗志】	(SL02) 官庁講演 PMDAにおける医薬品の医療安全対策並びに添付文書の電子化に伴う安全性情報の閲覧について 【養老真紀】	(SL04) シンポジウム ダイヤモンドプリンセス号 新型コロナ対策の活動報告とその法律関係 【井上清成】
	(SP05) 特別講演・招待講演 医療安全教育 - 何が必要か、どのように浸透させるか 【藤田眞幸】		(SL05) シンポジウム Unnoticed Factor (気づかれていない要因)に目を向けよう—医療安全へのアザーアプローチ 【武村雪絵】
	(SP06) 特別講演・招待講演 世界患者安全の日について 【諸富伸夫】		

日程表 2021年5月29日(土)～6月7日(月)

教育講演	教育講演	一般演題口演	一般演題ポスター
収録資料の放映	収録資料の放映	収録資料の放映	PDF資料の配信
<p>(EL01) 教育講演 新型コロナウイルスの特徴と病院における医療体制の構築 【河内 正治】</p> <p>(EL02) 教育講演 医療安全におけるチーム医療の円滑化の方法 【辰元 宗人】</p> <p>(EL03) 教育講演 多職種における医療安全推進に関する労働法などの法的な諸問題 【井上 清成】</p> <p>(EL04) 教育講演 コロナ禍における医療と医療安全 【松村 由美】</p> <p>(EL05) 教育講演 医療安全管理者のメンタルヘルス 【新村 美佐香】</p> <p>(EL06) 教育講演 パーキンソン病患者の転倒予防を中心 に 【藤井 千枝子】</p> <p>(EL07) 教育講演 振り戻さない組織へ—変革を支える環 境づくり— 【武村 雪絵】</p> <p>(EL08) 教育講演 患者参加型の医療安全の進め方 【勝村 久司】</p>	<p>(EL09) 教育講演 ネットワーク理論で解き明かすチーム 医療 【伊藤 英樹】</p> <p>(EL10) 教育講演 次世代の医療安全システムでXRを活用 する 【田仲 浩平】</p> <p>(EL11) 教育講演 心理的側面から見た優れた医療安全組 織構築への路（前編） 【辰巳 陽一】</p> <p>(EL12) 教育講演 心理的側面から見た優れた医療安全組 織構築への路（後編） 【辰巳 陽一】</p> <p>(EL13) 教育講演 チェックはいつ、どのように行うのが 良いのだろうか 【人間工学の立場から】 【小松原 明哲】</p> <p>(EL14) 教育講演 患者経験価値 (patient experience) に着目した対話に基づく医療 【出江 紳一】</p> <p>(EL15) 教育講演 病院長からの提言：医療安全活動及 び医療訴訟回避におけるインフォーム ド・コンセントの重要性 【許 俊銳】</p>	<p>一般演題 (医療安全文化関連) 【丸山節子】 【家入笑美】 【河瀬留美】 【長谷川貴子】 【原口道子】 【吉田和恵】</p> <p>一般演題 (多職種連携関連) 【木山弘恵】 【今井浩子】 【柳江正嗣】 【美野美香】 【上中香代子】 【中山晴雄】 【冬室純子】</p> <p>一般演題 (医薬品管理関連) 【梶田真子】 【成田初子】 【岡本里香】 【永瀬真理子】 【松林輝代子】 【福岡友音】</p> <p>一般演題 (臨床工学関連) 【吉澤光崇 1】 【吉澤光崇 2】 【梶原吉春】 【吉澤光崇 3】 【白井翔太】</p> <p>一般演題 (電子カルテ関連) 【内木場健一】 【池内忠宏】 【石橋正祥】 【仙丸直人 1】 【仙丸直人 2】</p> <p>一般演題 (看護管理関連) 【野村昌枝】 【山井美樹】 【鈴木美加利】 【都留由香里】 【唐田美幸】 【布施淳子】</p> <p>一般演題 (インシデント関連) 【徳平夏子 1】 【徳平夏子 2】 【日浦教和】 【熊澤俊介】</p> <p>一般演題 (その他) 【高木真弥】 【寺山恵子】 【秋山直美】 【高木純一郎 2】 【小原 俊】 【三浦健太郎】</p>	<p>一般演題 (感染対策関連) 【坂本信彰 1】 【坂本信彰 2】 【徳平夏子】 【近藤ひとみ】 【高木純一郎 1】</p>

## 企業・報道関係の方へ

### 1. 企業展示

#### 1) 展示場所

- ・ WEB展示となり、サイト上に企業ごとのコーナーを設置します。
- ・ 各企業は展示希望の動画等の資料および企業サイトのURLを事務局にお届けください。

#### 2) 展示期間

- ・ 5月29日（土）～6月7日（月）

#### 3) 申込方法

- ・ 申込先：総会事務局
- ・ 申し込み締め切り：4月15日
- ・ 料金：5万円/1企業
- ・ 料金支払い締め切り：4月20日
- ・ 支払先：総会銀行口座にお振込みください。  
(総会銀行口座)

銀行支店名：みずほ銀行 本郷支店

口座番号：普通 4092033

口座名義：JPSCS 総会（ジェーピーエスシーエスソウカイ）

- ・ 放映資料を掲載しているURLの提出締切：4月22日

### 2. 報道機関、出版社の取材記者の方へ

- ・ 参加費は無料ですが、事前にお申し込みください。 [7amt@jpscs.org](mailto:7amt@jpscs.org)
- ・ 抄録集(電子版)、資料閲覧ホームページ、ならびに視聴のための参加マニュアルをメールにてお教えします。
- ・ 抄録集(印字版)をご希望の際には、1部3,000円にて購入いただけます。
- ・ 本学術総会の開催について貴社を通じて広く社会へ広報していただけますと幸いです。

## 座長・演者へのお知らせとお願い

### 1. 座長の方へ

- ・ ご担当セッションの説明と発表者紹介の動画を作成してください。
- ・ 動画は2分程度とし、mp4形式で事務局へお届けください。

### 2. 特別講演・招請講演および官庁講演、教育講演の発表の方法

- ・ 講演は1題30分です。
- ・ WEB上に動画のURLを配置し、開催期間中に参加者へ公開します。
- ・ 講演動画をmp4形式で4月末日までに郵送もしくはメールにて事務局へお届けください。

### 3. シンポジウムの発表の方法

- ・ 講演は1人の発表者につき15分です。
- ・ WEB上に動画のURLを配置し、開催期間中に参加者へ公開します。
- ・ 講演動画をmp4形式で4月末日までに郵送もしくはメールにて事務局へお届けください。

### 4. パネル討論会の発表の方法

- ・ 講演は1人の発表者につき15分です。
- ・ 講演動画をmp4形式で4月末日までに郵送もしくはメールにて事務局へお届けください。
- ・ 討論部分は5月29日及び5月30日にライブ配信を行います。ご担当セッションの開始10分前までに入室してください。詳細は5月中旬に送付予定です。

### 5. 口演発表の方法

- ・ 一般演題(口演)は1題10分です。
- ・ WEB上に動画のURLを配置し、開催期間中に参加者へ公開します。
- ・ 講演動画をmp4形式で4月末日までに郵送もしくはメールにて事務局へお届けください。
- ・ 質疑応答はそれぞれの掲示板上にて行ってください。

### 6. ポスター発表の方法

- ・ WEB上に資料を配置し、開催期間中に参加者へ公開します。
- ・ ポスター資料をPDF形式で4月末日までに郵送もしくはメールにて事務局へお届けください。
- ・ 用紙内の最上部にタイトルと発表者一覧を明記してください。サイズ等の規定はありません。
- ・ 質疑応答はそれぞれの掲示板上にて行ってください。

### 7. ペイシエントセーフティーファースト賞

一般演題から審査選考される本学会賞の賞状は、会議後2-3か月後にお知らせします。  
選考は以下の2段階方式です。

(第1段階選考)

口頭発表・ポスター発表: 見学者一人一演題を指定のフォームに記入し送信する。

(第2段階選考)

第1段階選考結果を基に、正副会長がそれぞれの専門分野から受賞演題を決定する。

ネット会議の開催日である5月29日～6月7日の間、

以下のプログラムにおいて発表者から提供された発表資料のすべてを閲覧可能です。

発表資料は、パワーポイント原稿(ナレーション付きまたはナレーションなし)および  
録画ビデオです。

一般演題ならびに質疑応答希望の発表資料には討論用掲示板の用意がございます。

## プログラム 全日共通

### ST01: 総会長講演

テーマ: コロナ禍の感染対策・組織マネジメント

四柳 宏 (東京大学医科学研究所附属病院医療安全・感染制御センター・センター長、  
同感染免疫内科教授、病院長)

### ST02: 総会長講演

テーマ: 医薬品による医療事故の防止対策について

清野 敏一 (帝京平成大学薬学部教授、前東大病院前副薬剤部長)

### ST03: 総会長講演

テーマ: 熟練看護師の医療安全行動から Safety IIを探る

布施 淳子 (山形大学大学院医学系研究科看護学専攻基礎看護学講座教授)

### ST04: 次期代表総会長講演

テーマ: 「Keep health workers safe to keep patients safe」我が国の医療安全のこれから

大磯 義一郎 (日本医療安全学会理事長、浜松医科大学医療法学教室・教授)

### SP01: 特別講演・招請講演

座長: 大磯 義一郎 (日本医療安全学会理事長、浜松医科大学医療法学)

テーマ: 医学・医療の進歩と医療安全を考える

門田 守人 (日本医学会／日本医学会連合 会長)

## SP02: 特別講演・招請講演

座長: 四柳 宏 (東京大学医科学研究所附属病院医療安全・感染制御センター・センター長、同感染免疫内科教授、病院長)  
テーマ: ビッグデータを用いた安全管理  
野中 誠 (クロスフローメディカル株式会社)

## SP03: 特別講演・招請講演

座長: 布施 淳子 (山形大学大学院医学系研究科看護学専攻基礎看護学講座教授)  
テーマ: 日本看護協会の医療安全の取り組み  
梅内 美保子 (公益社団法人日本看護協会 看護開発部 看護業務・医療安全課 課長)

## SP04: 特別講演・招請講演

座長: 四柳 宏 (東京大学医科学研究所附属病院医療安全・感染制御センター・センター長、同感染免疫内科教授、病院長)  
テーマ: 海外におけるリスク管理から考える医療安全  
古閑 比斗志 (元外務省医務官 現在ふかやクリニック院長)

## SP05: 特別講演・招請講演

座長: 大磯 義一郎 (日本医療安全学会理事長、浜松医科大学医療法学)  
テーマ: 医療安全教育 - 何が必要か、どのように浸透させるか  
藤田 真幸 (慶應義塾大学医学部法医学教室教授)

## SP06: 特別講演・招請講演

座長: 四柳 宏 (東京大学医科学研究所附属病院医療安全・感染制御センター・センター長、同感染免疫内科教授、病院長)  
テーマ: 世界患者安全の日について  
諸富 伸夫 (厚生労働省医政局総務課医療安全推進室 室長)

## SL01：官庁講演

座長：清野 敏一（帝京平成大学薬学部）

テーマ：PMDAにおける医療機器の医療安全対策

関 譲和（医療機器品質管理・安全対策部 医療機器安全課、

安全性情報・企画管理部 リスクコミュニケーション推進課 医療安全情報室）

## SL02：官庁講演

座長：清野 敏一（帝京平成大学薬学部）

テーマ：PMDAにおける医薬品の医療安全対策並びに添付文書の電子化に伴う

安全性情報の閲覧について

養老 真紀（安全性情報・企画管理部 リスクコミュニケーション推進課 医療安全情報室）

## SL03：シンポジウム

テーマ：医療安全における医療倫理の実際

座長：布施 淳子（山形大学大学院医学系研究科）

### シンポジスト

布施 淳子（山形大学大学院医学系研究科・教授）

佐藤 慎哉（山形大学附属病院・病院長）

富田 善彦（新潟大学医歯学総合病院・病院長）

## SL04：シンポジウム

テーマ：ダイヤモンドプリンセス号 新型コロナ対策の活動報告とその法律関係

座長：井上 清成（井上法律事務所所長 弁護士、日本医療安全学会理事）

### シンポジスト

井上 清成（井上法律事務所所長 弁護士、日本医療安全学会理事）

橋本 岳（衆議院議員、前厚生労働副大臣、日本医療安全学会政治顧問）

自見 はなこ（参議院議員、前厚生労働大臣政務官）

## SL05 : シンポジウム

テーマ: Unnoticed Factor (気づかれていない要因) に目を向けよう

—医療安全へのアナザーアプローチ

座長: 武村 雪絵 (東京大学大学院医学系研究科・准教授)

シンポジスト

小池 智子 (慶應義塾大学看護医療学部／大学院健康マネジメント研究科・准教授)

筧 淳夫 (工学院大学建築学部・教授)

清水 佳子 (東京大学医学部附属病院・副看護部長)

## EL01 : 教育講演

テーマ: 新型コロナウイルスの特徴と病院における医療体制の構築

河内 正治 (帝京大学教授 医学部附属病院安全管理 部長、  
アジア国際感染症制御研究所 所長)

## EL02 : 教育講演

テーマ: 医療安全におけるチーム医療の円滑化の方法

辰元 宗人 (獨協医科大学病院 医療安全推進センター・教授)

## EL03 : 教育講演

テーマ: 多職種における医療安全推進に関する労働法などの法的な諸問題

井上 清成 (井上法律事務所所長)

## EL04：教育講演

テーマ：コロナ禍における医療と医療安全

松村 由美（京都大学医学部附属病院 医療安全管理部・部長）

## EL05：教育講演

テーマ：医療安全管理者のメンタルヘルス

新村 美佐香（横浜メディカルグループ・医療安全推進部、  
医療法人五星会菊名記念病院・医療安全管理室）

## EL06：教育講演

テーマ：パーキンソン病患者の転倒予防を中心に

藤井 千枝子（慶應義塾大学看護医療学部）

## EL07：教育講演

テーマ：揺り戻さない組織へ—変革を支える環境づくり—

武村 雪絵（東京大学大学院医学系研究科）

## EL08：教育講演

テーマ：患者参加型の医療安全の進め方

勝村 久司（日本医療安全学会 理事）

## EL09：教育講演

テーマ：ネットワーク理論で解き明かすチーム医療

伊藤 英樹（広島大学病院医療安全管理部）

## EL10：教育講演

テーマ：次世代の医療安全システムでXRを活用する

田仲 浩平（東京工科大学医療保健学部 臨床工学科）

## EL11：教育講演

テーマ：心理的側面から見た優れた医療安全組織構築への路（前編）

辰巳 陽一（近畿大学付属病院医療安全管理部教授）

## EL12：教育講演

テーマ：心理的側面から見た優れた医療安全組織構築への路（後編）

辰巳 陽一（近畿大学付属病院医療安全管理部教授）

## EL13：教育講演

テーマ：チェックはいつ、どのように行うのが良いのだろうか〔人間工学の立場から〕

小松原 明哲（早稲田大学 理工学術院創造理工学部・研究科経営システム工科）

## EL14：教育講演

テーマ：患者経験価値（patient experience）に着目した対話に基づく医療

出江 紳一（東北大学大学院医工学研究科リハビリテーション工学分野 教授）

## EL15：教育講演

テーマ：過去における日本での幾つかの重大医療事故における

インフォームド・コンセントの重要性

許 俊銳（東京都健康長寿医療センター）

## (一般演題: 口演: 医療安全文化関連)

MSC01

チーム STEPPS 導入に対するインシデント 0 レベル報告からの考察  
丸山節子  
社会福祉法人 恩賜財団 済生会

MSC02

「知っているようで知らない知識」資料の作成と活用の報告  
～多職種のインシデント等からピックアップした知識 100 間～  
家入笑美 近本亮 田口由美子 藤末昂一郎 政賢悟 上田麻子 吉富晃子  
熊本大学病院 医療の質・安全管理部

MSC03

安全文化調査結果の活用～職場年度方針への反映～  
河瀬留美 落合甲太  
西淀病院 医療安全管理室

MSC04

患者が医療参加できる土台が作られているか -患者が求める説明のあり方-  
長谷川貴子 1) 今田綾子 1) 鈴木美智子 1) 曽田秀子 2)  
順天堂大学医学部附属浦安病院 看護部 1) 順天堂大学医史学研究室 2)

MSC05

在宅人工呼吸管理に関する在宅特有のリスク管理の視点  
—在宅医療安全ヒヤリハット情報システム構築のための事例収集より—  
原口道子, 中山優季, 笠原康代, 松田千春, 板垣ゆみ, 小倉朗子  
公財) 東京都医学総合研究所 社会健康医学研究センター 難病ケア看護ユニット

MSC06

「複数診療科からなる優れた temporally (一過性) なチーム」を構成する仕組み  
—チーム医療依頼状使用の提案—  
吉田和恵, 柳江正嗣, 美野美香, 上野純子, 辰巳陽一  
近畿大学病院 安全管理部 医療安全対策室

## (一般演題: 口演: 多職種連携関連)

MOC01 多職種参加型医療安全ラウンドについて

木山 弘恵・柳生 雅代  
医療法人協和会 協和マリナホスピタル

MOC02 多職種ラウンドの効果と今後の課題

今井 浩子、松田 昌子、高橋 健太、吉田 敦、澤井 智、堀池 昌子、  
福島 由美子、廣畑 直美  
草津総合病院医療安全管理センター 医療安全管理室

MOC03 当院におけるインシデント・アクシデント報告に潜む TeamSTEPPS スキルの改善点

柳江正嗣、美野美香、吉田和恵、上野順子、辰巳陽一  
近畿大学病院安全管理部医療安全対策室

MOC04 手術部における非常事態出血宣言(輸血供給)フローの作成への取り組み

美野 美香、辰巳 陽一、上野 純子、吉田 和恵、柳江 正嗣  
近畿大学病院 安全管理部 医療安全対策室

MOC05 多職種で考える COVID-19 感染対策～即時対応できるチームの効果を考える～

上中香代子  
産業医科大学病院 看護部

MOC06 新型コロナウイルス感染症に対する診療継続 BCP の活用

-ICD の関わり方は如何にあるべきか ?-  
中山晴雄 松岡千賀子 小玉健太郎 太田登志子 平山忍 伊藤志昂 大塚昌信  
佐藤佐由理 浮須杏奈 松瀬厚人 岩渕聰  
東邦大学医療センター大橋病院 院内感染対策室

MOC07 流行性感染症の流行期における医療安全を踏まえた感染対策～手指消毒の効果～

冬室純子  
帝京大学医学部附属病院 感染制御部

## (一般演題: 口演: 医薬品管理関連)

NMD01

### 持参薬に関するインシデントの分析

梶田真子 小久保学 間瀬広樹

国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター

NMD02

### 自己管理薬の内服間違い低減への取り組み

成田 初子

東京大学医科学研究所附属病院 医療安全・感染制御センター 医療安全管理部 GRM

NMD03

### 薬局ヒヤリハット事例に対する安全管理対策評価に関するAI開発

岡本里香<sup>1</sup>, 中津井雅彦<sup>2</sup>, 小島諒介<sup>1</sup>

1 京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻 ビッグデータ医科学分野,

2 山口大学大学院医学系研究科・医学部附属病院

AIシステム医学・医療研究教育センター

NMD04

### フォーミュラリーに基づいた持参薬の切替提案はエラー防止や、医師の負担軽減に影響を与えるのか? ~回復期リハビリテーション病院の調査報告~

永瀬真理子 1)、中久木義孝 1)、金井紀仁 2)、安藤正純 2)、宮崎美子 3)、  
齋藤俊夫 4)

戸田中央医科グループ 戸田中央リハビリテーション病院 薬剤科 1)、  
新座病院 薬剤科 2)、戸田中央総合病院薬剤科 3)、TMG 本部 4)

NMD05

### 入院患者の転倒状況と看護師の初期対応に関する分析

松林 輝代子 1)、辰巳陽一 2)、笠井千秋 3)

近畿大学病院看護部管理室・統括看護長 1)、近畿大学病院安全管理部・教授 2)、  
近畿大学病院・看護部長 3)

NMD06

### 弾性ストッキングの適切な装着状況を支援し皮膚障害を低減する取り組み

福岡友音 荒瀬裕己 榎本由香 堀江江美子 平島祐子 後藤田晶 葛籠比佐美  
吉野川医療センター 看護部

## (一般演題: 口演: 臨床工学関連)

- CLE01 酸素ボンベ残量のリスクに対するデバイス開発と臨床現場における使用感について  
吉澤光崇 伴在高志 太田眞理 高島江美子  
社会医療法人抱生会丸の内病院臨床工学課
- CLE02 中小病院におけるサブスク型医療機器管理システムの活用  
吉澤光崇 伴在高志  
社会医療法人抱生会丸の内病院臨床工学課
- CLE03 医療用酸素ボンベの安全対策調査  
梶原吉春  
社会医療法人財団 大和会 東大和病院 臨床工学科
- CLE04 医療機器安全管理のための衝撃検知システムの開発  
吉澤光崇, 西尾俊哉, 表則夫, 磯尾信行  
社会医療法人抱生会丸の内病院臨床工学課
- CLE05 人工呼吸器管理中の患者に対する職種による危険予知の視点の違い  
-危険予知トレーニング基礎ラウンド法を用いた分析-  
白井 翔太、鍼田 慎平  
東京都立多摩総合医療センター・救命救急センター

## (一般演題: 口演: 電子カルテ関連)

- EMR01 電子カルテの手術申込における左右入力間違い回避の工夫とその効果  
伊東晶子 1)、土谷明子 1)、澤村成史 2), 3)、西山智子 3)、上野京子 3)、安心院康彦 3),  
上妻 謙 3)、河内正治 3)  
1. 帝京大学医学部附属病院看護部 、 2. 帝京大学医学部附属病院麻酔科、  
3. 帝京大学医学部附属病院安全管理部
- EMR02 マルチカメラ搭載型無影灯と AI 活用による open surgery の映像記録への取り組み  
梶田 大樹 1)、高詰 佳史 2)、斎藤 英雄 3)、杉本 麻樹 3)  
1) 慶應義塾大学医学部 形成外科  
2) 慶應義塾大学医学部 解剖学教室  
3) 慶應義塾大学理工学部 情報工学科
- EMR03 CT 画像診断体制の構築に向けた報告確認システムの有用性について  
石丸 新 1)、原 美香 1)、大川健一 2)、松下 出 2)、原田容治 3)  
戸田中央総合病院・ 1) 医療の質・安全管理室、 2) 放射線科、 3) 病院長
- EMR04 静脈路留置カテーテル挿入での死亡事例における障害パターン分析と  
安全性向上課題の検討  
喜田裕也  
光生病院 内科・人工透析科
- EMR05 術後静脈血栓症予防のための安全管理ワーキンググループの取り組みからの波及  
荒瀬 裕己 1)、榎本 由香 2)、平島 祐子 3)、堀江 江美子 4)、  
福岡 友音 4)、後藤田 晶 5)、葛籠 比佐美 6)  
吉野川医療センター 1) 循環器科、 2) 薬剤部、 3) 臨床検査科、 4) 看護部、  
5) リハビリ科、 6) 医療安全管理室
- EMR06 外来診療からの緊急入院における RRS 起動基準を用いた  
重症病床入室検討基準チェックシートの有用性  
古田康之 1)、二瓶友美 1)、増島絵里子 1)、徳田幸子 1)、小谷透 2)、小林洋一 1)  
昭和大学病院 医療安全管理部門 1)、集中治療科 2)

## (一般演題: 口演: リスク管理関連)

RMN01

### 医療において対称性が有する2面性: リスクとリスク分散

安心院康彦、上野京子、西山智子、杉本雅和、上妻謙、澤村成史、河内正治  
帝京大学医学部附属病院安全管理部

RMN02

### 複数診療科連携についてのM&Mカンファレンス結果と遷移確率行列モデルの比較

安心院康彦、西山智子、上野京子、杉本雅和、上妻謙、澤村成史、河内正治  
帝京大学医学部附属病院安全管理部

RMN03

### 歯科医院のリスク

清水正路  
(公社) 日本医業経営コンサルタント協会

RMN04

### COVID-19 感染拡大状況や関連する情報発信が市民の外出動向に与える影響の分析

兼松里依 杉浦勇希 杜博文 大村佳蓮 池田大悟 杉本祥拓  
竹内浩視 大磯義一郎  
浜松医科大学

RMN05

### 医療の記録のあり方について～カルテ開示に関するアンケート結果からの一考察～

吉尾めぐみ、小林仁、平井理心  
市民の視点から医療を考える会

RMN06

### 医療機関におけるリスクマネージャー育成支援に関する検討

鷲希悦、山崎春奈、岡田有策  
慶應義塾大学大学院・岡田研究室

## (一般演題: ポスター: 感染対策関連)

- ICR01 新興感染症流行のフェーズに応じた感染対策の検討開始と実施時期の目安の作成  
坂本信彰、米山宏、上島雅子、江波麻貴  
医療法人社団浅ノ川 浅ノ川総合病院 内科、同医療安全管理部 感染対策室
- ICR02 新興感染症の流行時における事業継続計画(BCP)の策定に向けた取り組み  
坂本信彰、松本泰作、米山宏、上島雅子、江波麻貴  
医療法人社団浅ノ川 浅ノ川総合病院 内科、同麻酔科、  
同医療安全管理部 感染対策室
- ICR03 当院 ICUにおける重症 COVID-19 症例受け入れによる影響  
徳平夏子、内山昭則、藤野裕士  
大阪大学医学部附属病院 集中治療部
- ICR04 手術室用ガウンの運用変更～COVID-19 パンデミックを経験して考える手術室の運営～  
水野知香 宮近祐基  
医療法人徳洲会 名古屋徳洲会総合病院 手術室
- ICR05 コロナ禍における多職種参加型医療安全研修会  
近藤ひとみ (1) 各務みちる (2) 仲田和彦 (3)  
(1) 岐阜県厚生農業協同組合連合会 中濃厚生病院 看護師長  
(2) 同 医療安全管理者 (3) 同 医療安全対策室長
- ICR06 石川県歯科医師に対しておこなったコロナ禍での意識調査について  
高木純一郎  
石川県立中央病院歯科口腔外科

## (一般演題: ポスター: 電子カルテ関連)

EMR01 遠隔画像診断サービス査読業務からの提言 第II報

内木場 健一  
UG サービス

EMR02 GS1 バーコード認証を利用した注射薬鑑査システムによるリスクマネジメント

池内忠宏, 兼重晋, 緒方憲太郎, 鷺山厚司, 神村英利  
福岡大学病院薬剤部

EMR03 当院薬剤部における動画撮影を取り入れた無菌調製教育の試み

石橋正祥 山村実佳 黒田誠一郎  
東京大学医科学研究所附属病院薬剤部

EMR04 CT 読影レポート所見の見落とし防止対策の取り組み

仙丸直人 大久保規子 松島ひろ代  
製鉄記念室蘭病院 医療安全管理室

EMR05 当院における病理診断報告書の未確認防止対策

仙丸直人、大久保規子、松島ひろ代  
製鉄記念室蘭病院 医療安全管理室

## (一般演題: ポスター: 看護管理関連)

NMR01

複数回転倒転落を減らすために（環境確認チェックリストを導入して）

野村昌枝 梶浦未帆 近藤唆世  
名古屋徳洲会総合病院 脳外科・泌尿器科病棟

NMR02

転倒・転落による損傷の低減に向けた取り組み  
～リンクナースを介した転倒転落防止対策の見直し～

山井美樹 山木麻美 丸井のぞみ  
IMS グループ 医療法人社団明芳会 横浜旭中央総合病院

NMR03

転倒・転落予防対策チーム、認知症・せん妄対策チームと連携した  
転倒・転落リスク評価の検討

鈴木美加利、神谷彩菜、高橋弘泰、飯田昭宏、伊藤武久、伊藤名ぐみ、  
田村真子、桂川純子、戸谷ゆかり、岡田健  
JA 愛知厚生連海南病院

NMR04

輸液を安全に実施するための時間確保について～日勤始業後1時間の業務改善～

都留由香里、砂田純子、吉井栄子  
東京大学医科学研究所附属病院看護部

NMR05

看護管理者を育てる病棟ラウンド評価表の活用～ラウンド実施で質の向上をめざす～

馬田美幸 近藤唆世 劇利子  
医療法人徳洲会 名古屋徳洲会総合病院

NMR06

3年目以上の看護師を対象としたレジリエンスエンジニアリングを既成する  
医療安全行動モデル

布施淳子、田中聰美、新野美紀  
山形大学大学院医学系研究科・看護学専攻

## (一般演題: ポスター: インシデント関連)

INR01

### 病態変化への対応: コードブルー要請前の状態変化に関する検討

徳平夏子(1) 芦田ひろみ(2) 中島聰子(3) 稲波享子(4) 塩鮑保博(5)

(1) 大阪大学医学部附属病院集中治療部 (2) 京都第一赤十字病院 麻酔科集中治療室  
(3) 京都第一赤十字病院 医療安全推進室 (4) 京都第一赤十字病院 看護部

INR02

### 患者急変時システム(コードブルー)におけるノンテクニカルスキルの必要性

徳平夏子(1) 芦田ひろみ(2) 中島聰子(3) 稲波享子(4) 塩鮑保博(3)

(1) 大阪大学医学部附属病院 集中治療部  
(2) 京都第一赤十字病院 麻酔科集中治療室  
(3) 京都第一赤十字病院 医療安全推進室 (4) 京都第一赤十字病院 看護部

INR03

### 医療連携ネットワークを活用した誤接続防止コネクタ(経腸栄養分野)導入への取り組み

日浦教和 1)、柳澤一世 2)、岡 業美子 3)、中筋美保 1)、高橋一隆 1)、

長町美智 1)、西田弘子 1)

1) 香川県立白鳥病院 医療安全管理室 2) 香川県立白鳥病院 栄養管理室  
3) さぬき市民病院 医療安全管理センター

INR04

### 抗がん剤汚染調査方法の検討

熊澤俊介、竹内裕貴、西沢正人

東芝ナノアナリシス株式会社 化学分析技術センター

製品&プロセス分析技術ラボ、東芝ナノアナリシス株式会社 技術本部

## (一般演題: ポスター: その他)

OTH01

### 当院婦人科における婦人科特定疾患治療管理料新設の患者説明への影響

高木真弥 1) 2), 大石元 2), 原徹男 1)

1) 国立国際医療研究センター病院・医療安全管理部門

2) 国立国際医療研究センター病院・産婦人科

OTH02

### 医薬品破損・破棄状況の分析と対策 2020

寺山恵子、佐野良輔、岩井初子、立花広志

国立病院機構四国こどもとおとなの医療センター 薬剤部

OTH03

### 医師と歯科医師における事故報告の相違について

#### ～医療事故等収集事業の公表事例を用いて～

秋山直美 1)、佐藤栄晃 2)、魚住龍史 3)、肥田圭介 1)

1) 岩手医科大学 医学部 医療安全学講座

2) 旭川医科大学 医学部 歯科口腔外科講座

3) 京都大学大学院 医学研究科 医学統計生物情報学

OTH04

### 石川県立中央病院における接遇改善への試み～挨拶にたいする意識調査とその対応～

高木純一郎

石川県立中央病院

OTH05

### 医学部新入生は患者安全意識が高いのか-高校3年生との比較から考える-

小原 俊<sup>1</sup>、 笹森 千愛<sup>1</sup>、 梅本 佳穂<sup>1</sup>、 三浦 健太郎<sup>1</sup>、 長谷 主帆<sup>2</sup>、 朱 晓人<sup>1</sup>、  
笠井 健司<sup>3</sup>、 大滝 恭弘<sup>4</sup>

<sup>1</sup>帝京大学医学部、<sup>2</sup>帝京大学薬学部、<sup>3</sup>東京ベイ・浦安市川医療センター、

<sup>4</sup>帝京大学医療共通教育研究センター

OTH06

### 病院・薬局は学生の患者安全意識をどう育てていくべきか

三浦 健太郎<sup>1</sup>、 長谷 主帆<sup>2</sup>、 梅本 佳穂<sup>1</sup>、 小原 俊<sup>1</sup>、 笹森 千愛<sup>1</sup>、  
朱 晓人<sup>1</sup>、 笠井 健司<sup>3</sup>、 大滝 恭弘<sup>4</sup>

<sup>1</sup>帝京大学医学部、<sup>2</sup>帝京大学薬学部、<sup>3</sup>東京ベイ・浦安市川医療センター、

<sup>4</sup>帝京大学医療共通教育研究センター

## プログラム 5月29日(土)

### (ライブ配信1)

#### PN01 :パネル討論会

テーマ: 頸部手術の術後血腫に伴う気道閉塞リスク  
～窒息による死亡を回避するために看護師、医師に伝えたいこと～

座長: 福島 光浩 (昭和大学横浜市北部病院医療安全管理室)

10:00-10:15 オーバービュー: 甲状腺・副甲状腺手術における術後出血  
～医療安全調査機構警鐘事例から～

福島光浩<sup>1</sup>, 福成信博<sup>1</sup>, 佐々木栄司<sup>1</sup>, 黄川恵慈<sup>1</sup>, 中野賢英<sup>1</sup>, 坂上聰志<sup>1</sup>,  
國井 葵<sup>1</sup>, 相田貞継<sup>2</sup> (昭和大学横浜市北部病院 甲状腺センター<sup>1</sup>, 外科<sup>2</sup>)

10:15-10:30 甲状腺外科手術術後の医療安全の取り組み  
大原 泰宏 (埼玉医科大学国際医療センター 救命救急科)  
高木 誠 (埼玉医科大学病院 消化器一般外科)

10:30-10:45 チームで取り組む甲状腺術後出血対策とその成果  
田村 温美 (東京医科大学 呼吸器・甲状腺外科学分野)

10:45-11:00 頸部手術後の安全管理に関する取り決め事項作成の取り組み  
一当院における「頸部手術に伴う管理ガイドライン」の運用状況調査結果をもとに—  
庄川久美子<sup>1</sup>、福原隆宏<sup>2</sup>、竹内裕美<sup>2</sup>  
(鳥取大学医学部附属病院看護部 (病棟8階B)<sup>1</sup>、  
鳥取大学医学部耳鼻咽喉科・頭頸部外科<sup>2</sup>)

11:00-11:15 甲状腺・副甲状腺手術における退院後に術後出血を発症した症例の検討  
新田早苗<sup>1</sup>、福島光浩<sup>2</sup>、木村 操<sup>3</sup>、山本正利<sup>2</sup>、舛岡裕雄<sup>2</sup>、東山卓也<sup>2</sup>、木原 実<sup>2</sup>、  
小野田尚佳<sup>2</sup>、宮 章博<sup>2</sup>、宮内 昭<sup>2</sup>  
(神甲会 隅病院 看護本部<sup>1</sup>、外科<sup>2</sup>、外来看護科<sup>3</sup>)

11:15-11:30 総合討論

## PN02 :パネル討論会

テーマ：医療従事者ピアサポートのあり方—ウィズコロナの時代を迎えて

座長：本間 覚（筑波大学附属病院臨床医療管理部）

13:00-13:15 我が国における医療事故当事者に対するピアサポート導入に向けた取り組み

大磯 義一郎（日本医療安全学会理事長、浜松医科大学医学部「医療法学」  
日本医科大学医療管理学、教授）

13:15-13:30 ピアサポートで医療者を救う！

—第二の被害者(Second Victim)を生まないために私たちができること  
荒神 裕之（山梨大学医学部附属病院 医療の質・安全管理部、特任教授）

13:30-13:45 臨床倫理相談室の設置～医療従事者支援という2つの効用～

松村 由美（京都大学医学部附属病院・医療安全管理部部長、教授）

13:45-14:00 医療安全にかかるピアサポート体制の構築と拡大

平井理心（筑波大学附属病院・臨床心理士）

14:00-14:15 階層の異なるピアサポートのかたちとその実装

辰巳 陽一（近畿大学病院安全管理部、教授）

14:15-14:30 総合討論

## PN03 :パネル討論会

テーマ: よりよい自己決定を支援するインフォームド・コンセントのあり方

座長: 松村 由美 (京都大学医学部附属病院 医療安全管理部)

14:40-14:55 京都大学医学部附属病院におけるICの取り組みと今後の展望  
松村 由美 (京都大学医学部附属病院・医療安全管理部 部長)

14:55-15:10 若手医師の感じる現状のICの課題と展望  
森 亘平 (石巻赤十字病院 産婦人科)

15:10-15:25 テクノロジーを用いたICががん医療を変える  
鈴木 康弘 (社会医療法人恵佑会 理事長)

15:25-15:40 ITを用いたインフォームド・コンセントの法的解釈  
大磯 義一郎 (日本医療安全学会理事長、浜松医科大学医療法学教室・教授)

15:40-15:55 総合討論

## PN04 :パネル討論会

テーマ: コロナ禍の心理的安全性による医療安全の基盤強化に向けて

座長: 藤井 千枝子 (慶應義塾大学看護医療学部・教授)

16:00-16:15 「心理的安全性」への取り組み  
堀田 まゆみ (東海大学医学部付属八王子病院・看護部)

16:15-16:30 医療安全の「礎」となるよりよい組織文化の醸成を目指して  
藤本早和子 (京都府立医科大学附属病院・副病院長兼看護部長)

16:30-16:45 機器とIT化の中での心理的安全性  
藤井千枝子 (慶應義塾大学看護医療学部・教授)

16:45-17:00 総合討論

## (ライブ配信2)

### PN09 :パネル討論会

テーマ：情報通信技術と人工知能を利用した医療安全向上の試み

座長：水本 一弘（和歌山県立医科大学附属病院医療安全推進部）

10:00-10:15 ヒューマンエラーを認識、対応する人工知能の可能性  
水本 一弘（和歌山県立医科大学附属病院医療安全推進部）

10:15-10:30 ICTを利用した医療安全向上の試み 電子カルテから人工知能へ  
西川 彰則（和歌山県立医科大学附属病院医療情報部/輸血部）

10:30-10:45 総合討論

### PN10 :パネル討論会

テーマ：生体情報モニタの安全使用

座長：石井 宣大（東京慈恵会医科大学葛飾医療センター臨床工学部）

11:00-11:15 生体情報モニタの安全使用への取り組み  
林 恭平、石井 宣大（東京慈恵会医科大学葛飾医療センター 臨床工学部）

11:15-11:30 生体情報モニタ（セントラルモニタ）の安全教育  
野川 悟史（昭和大学藤が丘病院臨床工学室 係長）

11:30-11:45 総合討論

## PN11 :パネル討論会

テーマ：医療機器安全教育のマネジメント

座長：北野 達也（星城大学 経済学部 教授）

13:00-13:15 臨床工学技士がマネジメントする医療安全に向けたセントラルモニタ運用

渡邊拓也、金子昌治（東京慈恵会医科大学附属柏病院 臨床工学部）

13:15-13:30 当院における医療機器安全対策の実際

井上 博満（公益財団法人日産厚生会玉川病院 臨床工学科 科長）

13:30-13:45 医療機器安全教育にVRシミュレータを適応した事例

田仲 浩平（東京工科大学 医療保健学部 教授）

13:45-14:00 医療総合型リスクマネジメント (Healthcare Enterprise Risk Management)

の概要と考え方

北野 達也（星城大学 経営学部 教授）

14:00-14:15 総合討論

## PN12 :パネル討論会

テーマ：中小病院における医療機器安全管理の課題

座長：石井 宣大（東京慈恵会医科大学葛飾医療センター臨床工学部）

15:00-15:15 「医療安全の観点から臨床工学技士の現状と未来」

～某看護学校へのアンケート結果より～

大塚勝二（熊本大学病院 ME 機器技術部門）

15:15-15:30 中小病院における医療機器安全管理の課題

梶原 吉春（東大和病院 臨床工学科・技士長）

15:30-15:45 「ログ解析」が医療安全に寄与できること：General CEの視点から

桑原 将司（済生会西条病院 医療機器管理室）

15:45-16:00 医療安全管理者的立場から期待する中小医療機関の医療機器安全管理

松田 晋也（東京都済生会向島病院 医療安全管理室 医療安全管理者）

16:00-16:15 総合討論

## プログラム 5月30日(日)

### (ライブ配信1)

#### PN05 :パネル討論会

テーマ: 医療の安全の確保 -多様な地域連携の在り方-

座長: 小林 美雪 (健康科学大学 看護学部 教授, (一社) 山梨医療安全研究会代表)

09:00-09:15 一社) 山梨医療安全研究会の取り組みと医療の安全文化を醸成するための課題  
小林 美雪 (健康科学大学 看護学部 教授, (一社) 山梨医療安全研究会代表)

09:15-09:30 医療の安全の確保に向けた地域連携における大学が果たすべき役割  
荒神 裕之 (山梨大学医学部附属病院 医療の質・安全管理部 特任教授 GRM)

09:30-09:45 地域連携による医療安全の推進を目指した取り組み  
名取 通夫 (諏訪中央病院 医療安全管理部 (薬剤師) )

09:45-10:00 総合討論

## PN06 :パネル討論会

テーマ：侵襲的治療の現場で求められるチームワークと多職種連携  
～手術室、救急医療、血管治療の現場から

座長：伊藤 英樹（広島大学医療安全管理部、教授、部長）

10:30-10:45 手術室におけるコミュニケーションと多職種連携の現状と課題：  
外科医、手術部教官の経験を踏まえて  
谷口 雄司（鳥取大学医学部附属病院・医療安全管理部部長、教授）

10:45-11:00 外科治療における多職種連携に必要なスキル  
渡谷 祐介（広島大学病院・医療安全管理部副部長、講師）

11:00-11:15 心血管カテル室における多職種連携  
村上 和司（香川大学医学部附属病院・医療安全管理部副部長、講師）

11:15-11:30 救急医療におけるコミュニケーション  
萬代 良一（滋賀医科大学医学部附属病院・医療安全管理部副部長、講師）

11:30-11:45 総合討論

## PN07 :パネル討論会

テーマ: チームで取り組む安全な内服管理

座長: 三上 久美子 (横浜市立みなと赤十字病院 看護副部長 医療安全推進課課長)

13:00-13:15	<u>横浜市立みなと赤十字病院における内服管理について</u> 三上 久美子 (横浜市立みなと赤十字病院 看護副部長 医療安全推進課課長)
13:15-13:30	<u>済生会横浜市東部病院における内服管理について</u> 太原 志歩 (社会福祉法人恩賜財団済生会横浜市東部病院 TQMセンター 医療安全管理室 副室長)
13:30-13:45	<u>菊名記念病院における内服薬管理について 一医薬品安全管理責任者の立場から一</u> 金田 昌之 (医療法人五星会菊名記念病院 薬局長 医薬品安全管理責任者)
13:45-14:00	総合討論

## PN08 :パネル討論会

テーマ: 薬剤師が取り組む医療安全

座長: 井手口 直子 (帝京平成大学薬学部 教授)

14:30-14:45	<u>薬学部と在宅医療での“安全”とはなにか?</u> 井手口 直子 (帝京平成大学薬学部 教授)
14:45-15:00	<u>病院薬剤師が取り組む安全</u> 高瀬 久光 (日本医科大学多摩永山病院 薬剤部長)
15:00-15:15	<u>薬局薬剤師が取り組む“安全”</u> 宮原 富士子 (N P O 法人 H A P 理事長)
15:15-15:30	総合討論

## (ライブ配信2)

### PN13 : パネル討論会

テーマ: 「医療事故の再発防止に向けた提言」を考える

座長: 大磯 義一郎 (日本医療安全学会理事長、浜松医科大学医療法学教室・教授)

09:00-09:15 医療事故調査制度は何をもたらしたのか

大磯 義一郎 (日本医療安全学会理事長、浜松医科大学医療法学教室・教授)

09:15-09:30 医療事故調査制度の今 弁護士の立場から

小島 崇宏 (大阪A&M法律事務所)

09:30-09:45 「再発防止に向けた提言」の医療現場の安全性の向上に与える光と影

辰巳 陽一 (近畿大学病院・安全管理部教授)

09:45-10:00 医療現場における影響について看護の立場から

加戸 聖美 (近畿大学病院・看護部統括看護長)

10:00-10:15 総合討論

## PN14 :パネル討論会

テーマ: 医療事故調査制度「センター調査」結果に対する患者側の評価

座長: 勝村 久司 (日本医療安全学会 理事)

10:30-10:50 センター調査に至った遺族を支援してわかったこと

勝村 久司 (日本医療安全学会 理事)

10:50-11:10 センター調査に対する患者の評価－複数のセンター調査結果を分析して－

宮脇 正和 (医療過誤原告の会 会長)

11:10-11:30 現行のセンター調査の制度上の限界

木下 正一郎 (きのした法律事務所 弁護士)

11:30-11:50 総合討論

## PN15 :パネル討論会

テーマ: 医療事故調査制度 5年を経た現状と課題

座長: 勝村 久司 (日本医療安全学会 理事)

13:00-13:20 医療事故調査制度を活用しようとした6件の事例からわかる現状と課題

勝村 久司 (日本医療安全学会 理事)

13:20-13:40 京大病院における医療事故調査の現状

松村 由美 (京都大学医学部附属病院・医療安全管理部部長、教授)

13:40-14:00 医療事故調査・支援センターに権限を－5年を経た現状と課題－

木下 正一郎 (きのした法律事務所 弁護士)

14:00-14:20 総合討論

## PN16 :パネル討論会

テーマ：高難度新規医療技術を安全に実施する

座長：本間 覚（筑波大学附属病院臨床医療管理部）

14:30-14:45 筑波大学附属病院における高難度新規医療技術等評価制度の現状と展望  
和田 哲郎（筑波大学附属病院・臨床医療管理部副部長）

14:45-15:00 高難度新規医療技術を安全に導入するため  
秋野 裕信（福井大学医学部附属病院・医療安全管理部教授）

15:00-15:15 京都大学附属病院における高難度新規医療技術等評価制度の現状と展望  
松村 由美（京都大学医学部附属病院・医療安全管理部部長）

15:15-15:30 東北大学病院の高難度新規医療技術  
田畠 雅央（東北大学病院・医療安全推進室副室長）

15:30-15:45 臍切除の高難度医療技術の Quality indicator の創設  
工藤 篤（東京医科歯科大学医学部附属病院・病院長補佐、医療安全管理部長）

15:45-16:00 総合討論